≪神原からのお願い≫

『分からない、時間がない、関係ないは無責任!!』

- ★政治が分からないという理由で、選挙権を放棄しないで
- →情報を取る努力をすべきではないか
- ★投票に行く時間がないという理由で、選挙権を放棄しないで
- →投票に行くのに | 時間もかからないし、期日前投票も出来る
- ★自分に関係ないという理由で、選挙権を放棄しないで
- →候補者それぞれの主張は異なっており、全て一致出来ず、 ベストではなくてもベターな選択肢を見出すべき

なぜなら、『将来世代への責任放棄だから』

豊中市民約40万人、そのうち、約33万人が有権者です。選挙権をもたない市民の大半は、18歳未満の子どもたちです。市内を回っていると、子どもたちが数多く、無邪気に手を振り、声をかけてくれます。しかし、子どもたちは、自分たちのまちのこと、将来のことを託す一票を投じることが出来ません。有権者の方々には、そんな子どもたちのためにも、考え、選び、投票をして頂きたいです。

選挙権のない子どもたちのためにも、投票へ行こう!!

選挙権を放棄することは、皆さんのお子さんやお孫さんたち将来世代に ツケや負担を押し付けることに繋がっています。

投票率や投票総数に世代間で大きな差が生じている結果、子どもたちや若者世代と高齢者世代に充当されている税金に大きな差が出ています。 しかも、今後も税収が足りなければ、増税や借金などの大きな負担を将来世代は課せられるかも・・・。

神原宏一郎のプロフィール

1978年12月25日 豊中市生まれ(40歳)

1991年 豊中市立上野小学校卒業

1994年 豊中市立第十一中学校卒業

1997年 大阪府立北野高校卒業

2003年 大阪府立大学工学部卒業

2005年 ロンドン大学大学院政治学部 国際関係研究科 修士課程修了

2007年 豊中市議会議冒選挙で初当選

2011年 豊中市議会議員選挙で再選

2015年 豊中市議会議員選挙で再々選

つながり通信パックナンバーは こちらよりご覧いただけます。

http://positivesquare.sakura.ne.jp/







~生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている~

関心·期待感·信頼感念蛇《政治》

未来を描くのは僕らだ!!

市民の声を政治の場で反映することが、政治家の役割です。 同時に、自分の思いを発信し、世論を創り上げていくことも 政治家には求められていると信じています。

そこで、私が提唱するのが「自立(自律)都市とよなか」の創造です。

「市の財政的自立(自律)」

「行政組織、行政職員の自立(自律)」

「議会、議員の自立(自律)」

「市民の自立(自律)」

ぜひ、周りの方にも、 この思いを広めて下さい

それらをコツコツと着実に実現していくことで、

市民が『関心・期待感・信頼感を抱く政治』を創り上げていきたい。

批判や言い訳、静観していても何も変わらない。

豊中の未来を描き、築き上げていくのは、

私たち、豊中市民一人ひとりなのだから。



神原の描く未来像



未来を担う

投資を!!

世代へもっと

私には夢がある

- → 子どもたちの笑顔があふれ、 あちこちで遊び回る豊中にしたい
- ► 老若男女問わず、市民誰もが生きがいを持ち、 孤立しない豊中にしたい
- ► 若い世代が不安ではなく、 希望や期待を抱ける豊中にしたい



議会が、変われば 変わる!!

- ▶市民の関心、信頼感、期待感を 抱かせる議会づくりに努めます
- ・ 出前議会、議会報告会の開催
- ・ 学生議会、こども議会の開催
- ・議員インターンシップの受入
- ▶時代に沿わない慣習、規則を見直し、 議会本来の役割である市政の チェック機関としての機能が 発揮できる体制づくりに努めます
- 議会報での議案に対する各議員の 賛否の公表及び質問者の氏名の公表

居心地の

よいまち

中

実現!!

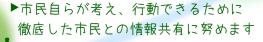
• 市長や理事者への反問権の付与

運営から 経営へ!!

- ▶ワンストップサービスを促進し、 たらい回しの改善を図ります
- 類似事業の統合と窓口の一元化
- 事前予約システムを活用し、 待ち時間の短縮
- ▶お役所仕事の改善、 事務・事業の効率化を図ります
- ・職員の民間派遣制度の導入
- · AI の積極的な活用
- ・専門業務(分野)への外部人材の登用

自立(自律)都市とよなかを目指して!

- ▶人づくりの基本である教育の 環境・質の向上に努めます
- ・ 小中学校のトイレ改修、 エレベーター設置を推進
- ・ 公設フリースクールの整備を追求
- 部活動顧問の外部委託化
- ・公民館、図書館等の空きスペースを 自習室として開放
 - 更なる 「情報公開を!!
- ▶子どもや子育て世代の多様なニーズに 応えられる環境づくりに努めます
- 気軽に相談できる第三者機関 『公的こどもオンブズパーソン』の設置
- 長期休暇中の子どもたちの居場所づくり
- 保育士確保のため、処遇改善を推進
- 子育て相談、教育相談、児童虐待相談などの 人員体制強化



- 議員報酬や政務活動費の使途公開
- つながり通信の発行
- 定期的な市政報告会の開催
- ▶良い情報も、悪い情報もお伝えし、 批判も含めて、真摯に受け止め 市政に反映させていきます
- ▶しがらみのない是々非々な活動をします

- ▶誰にとっても住みやすい、 生活しやすい環境整備に努めます
- ・ 空き家対策の強化
- 路上喫煙禁止区域の拡大
- 阪急電鉄各駅での転落防止柵の設置
- ▶今ある問題の解決だけでなく、 将来の問題の未然防止に努めます
- 市民の自助力、防災意識の向上
- 介護ヘルパー、ケースワーカーの就労環境の改善
- 国民健康保険等にインセンティブ制度を導入
- ▶環境保全が経済活動や次世代の社会に 貢献するという発想に転換します
- ごみ分別の明確化及び簡略化
- ・ 公園の禁煙化

